

平成 30 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 静岡厚生会

# 社会福祉法人 静岡厚生会

## 経営理念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

### 安定した経営

介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。

### 地域への貢献

法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。

### 適切な支援

法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

## 行動指針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

### 五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます。

## 平成 30 年度 静岡厚生会 事業報告

第 7 期介護保険事業計画の初年度となった本年度は介護報酬改定の影響も少なく、施設における看取り介護など、これまで本会が実践してきた取組みが形として評価されることになりました。

しかし、優先すべき第一目標として取り組んできました「一日も早く縮小している事業の再開」については対策効果が得られませんでした。また、少子高齢化や都会集中による地方労働人口の減少の中で、今日、多くの分野・産業までもが深刻な人材不足となってきました。

こうした中で、外国人労働者の受け入れ拡大に向けた改正出入国管理法（入管法）が成立し 4 月から施行される予定ではありますが、本会においては、まずは内部での人材確保のための改革を進めるために、働きがいのある介護の職場づくりに取り組みました。

特に、労働環境における負担の軽減や改善、職員の離職防止と若年職員の定着化に努める一方で、将来の担い手となる学生に直接発信できる体制を整え、法人のイメージアップに努めました。

具体的には、職員一人ひとりの専門性と意欲向上を高めるための対応や、処遇改善加算を財源とした中堅若年層のベースアップと待遇の改善を行いました。

また、新卒者の確保にむけて、スマートフォンに対応した Web サイトの運営やリクルート用パンフレットの作成など、これまでにない時代に沿った新たな情報発信媒体による広報活動にも取り組みました。

更に、「厚寿苑」を「厚生苑 新緑の郷」へ改名、「清流の郷・新緑の郷・さくらの郷」を拠点とし、本会が提供するサービスを「厚生苑」で統一、商標登録の出願も済ませ、介護福祉分野におけるブランド力の強化を図りました。

この他、縮小事業の再開の見通しが難しく収益の拡大が期待できない中で、物価の上昇や消費税改正による運営経費の負担増が懸念されるため、外部委託業務を中心として仕様や費用を見直し、業務の内製化等の経営改善計画の策定に着手しました。

また、働く職員の思いや意見を運営に反映させていくために、施設介護課の職員が中心となり、厚生苑働き方改革委員会を発足し、『働く一人ひとりの「ワークライフ・バランス」を大切に』をテーマに、これからの取組みについての検討も始めました。重ねて、既存に囚われない多様で柔軟な働き方や雇用形態の導入についても研究を進めていきたいと思っております。

こうした諸課題に対して、次年度も果敢に挑戦していきながら、引き続き高齢者の安心・安全な暮らしや生活が守れるよう地域の福祉活動にも取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月

社会福祉法人 静岡厚生会

理事長 内 藤 孝 二

## 【法人の強化対策】

平成 30 年

- 4 月・地域交流サロン「い～とこ安西」活動支援開始〔開設 3/31〕
  - ・法律事務所との顧問弁護士契約を締結
- 5 月・第 1 回 育休復帰者・育休復帰経験者職員交流会 開催  
〔静岡厚生会子育て支援プロジェクト 2018〕
  - ・長期借入金の利息改定交渉
- 6 月・介護職員 処遇改善一時金支給〔9 月・12 月・3 月：年 4 回〕
- 7 月・施設案内・リークルートパンフレット制作
  - ・西日本豪雨呉市災害ボランティア支援 200 千円寄付  
〔静岡県ボランティア協会：法人 96 千円・役職員 104 千円〕
- 9 月・ホームページリニューアル（スマートフォン対応）
  - ・日常生活困窮者自立支援制度 就労訓練事業所認定（清流の郷）
  - ・屋外広告施設掲示板設置〔清流の郷・新緑の郷・さくらの郷〕
- 10 月・厚生苑 新緑の郷（旧 厚寿苑）へ名称を変更 厚生苑に統一
  - ・若年・中堅職員の給与改定による処遇改善の実施
  - ・有償（ふれあい）ボランティア制度導入〔実働 12 月～〕
  - ・高齢者の外出支援事業（安西おでかけ号の運用）開始〔実働 1 月～〕
  - ・厚生苑働き方改革実行委員会発足（新緑の郷 幹部）
  - ・ユニフォーム貸与試行導入（新緑の郷・介護職員）
- 11 月・静岡市長「い～とこ安西」視察 さくらの郷に来苑
- 12 月・北海道胆振東部地震・厚真町義援金 100 千円 寄付  
〔法人 50 千円・役職員 50 千円〕

平成 31 年

- 1 月・介護福祉人材支援・奨学金の制度規程の施行
  - ・静岡東ロータリークラブ 40 周年記念品寄贈 金澤翔子書画「飛翔」
- 2 月・見守センサー機能付ベッド（介護ロボット）試行導入 4 台
  - ・施設名称の登録商標を出願  
〔「厚生苑」・「清流の郷」・「新緑の郷」「厚生苑さくらの郷」〕
  - ・各種委託事業の経費見直しと更改交渉
  - ・施設メンテナンス専任職員の配置
- 3 月・介護福祉士取得支援 職員合格者 5 人／7 人中  
〔本会合格率 71.43%：全国平均 73.7%〕
  - ・新卒者 5 人採用確定〔第二新卒者（新卒 3 年未満）1 人含む〕
  - ・第三期 一般事業主行動計画策定（第二期行動計画達成の為）

## 【実施主要項目】

### 1. 法人経営

- 1) 福祉介護人材の確保と事業再開による経営の安定化
- 2) 新介護保険報酬への対応と迅速な経営判断
- 3) 戦略的な広報活動の企画立案と実施
- 4) ITの積極的な活用と運用体制の充実
- 5) 法令遵守のための規程及び規則等の再確認

### 2. サービスの充実

- 1) 医療ニーズの高い利用者への対応
- 2) 地域包括ケアと看取り介護における医療・介護の連携
- 3) 高齢者の健康増進のための機能訓練の促進
- 4) 信頼関係の構築と不適切な介護の防止
- 5) 量から質にむけてのケアの転換

### 3. 人材育成・確保

- 1) 採用職員に配慮した指導とより丁寧な対応
- 2) 新人職員（3年未満）の定着化と基本スキルの確認
- 3) 現任職員（3年以上）の技術及び指導力の向上
- 4) 指導職員（副主任以上）のマネジメント力の強化
- 5) 処遇の改善及び有期から無期雇用への円滑な転換

### 4. 職場環境の整備

- 1) 育児中の職員が安心して働ける職場環境づくり
- 2) 夜勤従事者への業務改善と夜勤業務の負担の軽減
- 3) ICT活用による業務効率の改善と日常業務の平準化
- 4) 送迎リスクの回避にむけた車両入替の準備計画の策定
- 5) ストレスマネジメントと精神的負担の軽減

### 5. 地域福祉・ボランティアの推進

- 1) 番町・安西学区地域住民及び団体への協力支援
- 2) JA静岡市高齢者福祉事業への協力と支援
- 3) 地域における有償ボランティアの育成と活用
- 4) 住民福祉活動への支援協力と住民福祉ニーズへの対応
- 5) 新たな地域貢献の企画立案と試行的事業の実施

## 1. 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 内藤 孝二
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 昭和 54 年 11 月 26 日
- 5 登記日 昭和 55 年 1 月 23 日
- 6 組 織

〔顧問〕	鈴木 脩造	〔役員〕	理事長	内藤 孝二
〔相談役〕	芹澤 博		副理事長	寺尾 恵亘
〔評議員〕	鈴木 文隆		専務理事	松田 晃
	鈴木 洋一		常務理事	中川恵美子
	谷 功		理 事	中山千砂子
	坂部 俊一		理 事	海野フミ子
	坂野 浩義		監 事	長 嵩 吉宏
	小野田ふみ子		監 事	大石 哲生
	河俣 貴之			
	吉田 圭佑			

〈平成 31 年 3 月 31 日現在〉

## 7 活動拠点

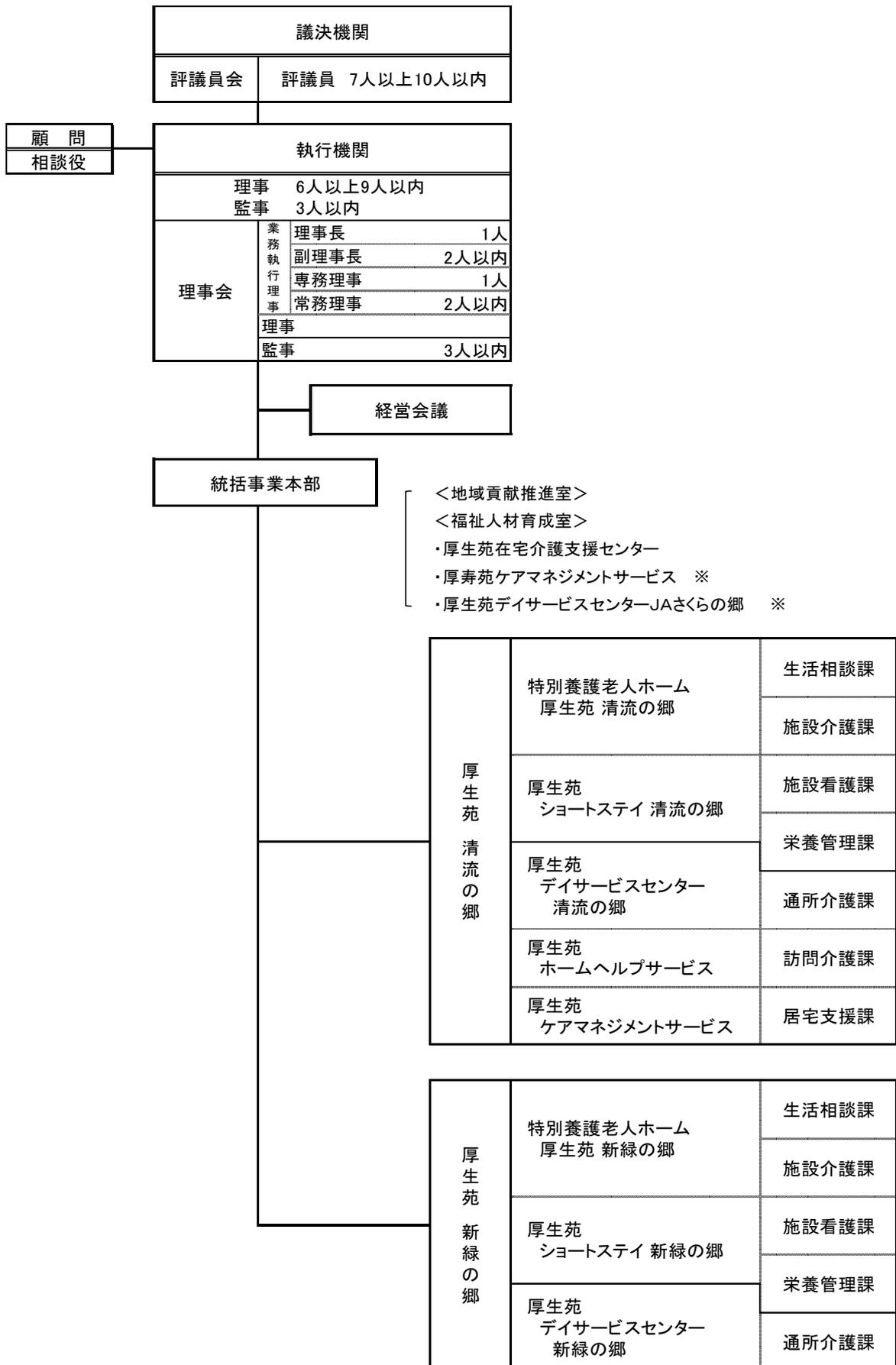
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m <sup>2</sup>	643.54 m <sup>2</sup>	鉄骨 3 階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m <sup>2</sup>	6,358.75 m <sup>2</sup>	鉄骨 4 階建
厚生苑 J A みずほの郷	静岡市駿河区みずほ 1-34-17	353.00 m <sup>2</sup>	171.14 m <sup>2</sup>	鉄骨 平屋
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m <sup>2</sup>	3,350.73 m <sup>2</sup>	鉄骨 4 階建

## 8 実施事業

事業部門 (管理者)	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 (施設長 中川恵美子)	特別養護老人ホーム	120 人	昭和 55 年 6 月 1 日
	ショートステイ (休止中)	24 人	昭和 57 年 11 月 12 日
	デイサービスセンター	35 人	平成 8 年 4 月 1 日
	ケアマネジメントサービス	—	平成 11 年 10 月 1 日
	ホームヘルプサービス	—	平成 8 年 4 月 1 日
厚生苑 新緑の郷 (施設長 中山千砂子)	特別養護老人ホーム (10 床休止中)	50 人	平成 17 年 9 月 1 日
	ショートステイ (休止中)	10 人	平成 17 年 9 月 1 日
	デイサービスセンター	35 人	平成 17 年 9 月 1 日
	ケアマネジメントサービス (休止中)	—	平成 22 年 9 月 1 日
厚生苑 さくらの郷 (責任者 松田 晃)	デイサービスセンター (休止中)	20 人	平成 21 年 4 月 1 日
	在宅(老人)介護支援センター	—	平成 29 年 7 月 3 日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会



10 職員配置状況

		雇用形態	管理者	介護職員	訪問介護員	看護職員	機能訓練指導員	主任介護支援専門員	生活介護支援専門員	管理栄養士	労務職員	清掃員	統括本部付	産休育休者	総計	
厚生苑 さくらの郷	統括事業本部	正規職員	2										2	3	7	
		有期職員												1		1
		計	2											3	3	8
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員	1													1
		有期職員										1		1		2
		計	1									1		1		3
	拠点計	正規職員	3											2	3	8
		有期職員										1		2		3
		計	3									1		4	3	11
厚生苑 清流の郷	施設介護	正規職員	1	46		2	1		2	2			1		55	
		有期職員		7		7	1		1		2				18	
		計	1	53		9	2		3	2	2		1		73	
	通所介護	正規職員		2					2						4	
		有期職員		7		3							1		11	
		計		9		3			2				1		15	
	居宅介護支援	正規職員						1	1						2	
		有期職員						1	3						4	
		計						2	4						6	
	訪問介護	正規職員			1										1	
		有期職員			11										11	
		計			12										12	
	拠点計	正規職員	1	48	1	2	1	1	5	2				1		62
		有期職員		14	11	10	1	1	4		2	1			44	
		計	1	62	12	12	2	2	9	2	2	1	1		106	
厚生苑 新緑の郷	施設介護	正規職員	1	18		3			2				1		25	
		有期職員		3		1				2					6	
		計	1	21		4			2	2			1		31	
	通所介護	正規職員							3						3	
		有期職員		4		2	1		1				2		10	
		計		4		2	1		4				2		13	
	拠点計	正規職員	1	18		3			5					1	28	
		有期職員		7		3	1		1	2			2		16	
		計	1	25		6	1		6	2			2	1	44	
法人全体	正規職員	5	66	1	5	1	1	10	2				4	3	98	
	有期職員		21	11	13	2	1	5	2	3	3	2		63		
	計	5	87	12	18	3	2	15	4	3	3	6	3	161		

平成 31 年 3 月 31 日現在(単位:人)

## II. 法人運営状況

### 1 理事会（開催回数 5 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 167 回)	平成 30 年 5 月 29 日 (火) 午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔1 人／2 人〕	報告	①理事長専決事項 ②理事長及び業務執行理事の業務執行状況 ③社会福祉施設指導監査の結果について
			議案	①平成 29 年度 事業報告及び附属明細書の件 ②平成 29 年度 計算関係書類及び財産目録の件 ③厚生苑の名称変更及び候補の選定の件 ④定時(第 62 回)評議員会の開催と招集の件
2 (第 168 回)	平成 30 年 10 月 23 日 (火)	決議の省略	議案	①給与規程の一部改正について
3 (第 169 回)	平成 30 年 11 月 5 日 (月) 午後 12 時 05 分から午後 12 時 25 分まで 於：厚生苑さくらの郷 1 階 役員会議室	5 人／6 人 〔2 人／2 人〕	議案	①定款変更の件 ②臨時(第 63 回)評議員会の開催と招集の件
4 (第 170 回)	平成 30 年 12 月 18 日 (火) 午後 2 時 50 分から午後 3 時 40 分まで 於：クーポール会館 2 階 有明	6 人／6 人 〔2 人／2 人〕	報告	①理事長専決事項 ②理事長及び業務執行理事の業務執行状況 ③平成 30 年度 上半期の経営状況に関する報告
			議案	①第一次収支補正予算の件 ②各種規程等の改廃及び制定の件
5 (第 171 回)	平成 31 年 3 月 27 日 (水) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 20 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 〔1 人／2 人〕	報告	①理事長専決事項
			議案	①平成 30 年度 最終収支補正予算の件 ②平成 31 年度 当初収支予算及び事業計画の件 ③諸規程規則の一部改正の件 ④平成 31 年度 短期資金の借入の件 ⑤各種業務委託契約の更新の件 ⑥介護職員実務者研修養成施設の指定と実施の件

### 2 評議員会（開催回数 2 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 62 回)	平成 30 年 6 月 13 日 (水) 午後 2 時 30 分から午後 4 時 15 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	7 人／8 人 〔2 人／2 人〕	議案	①平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認の件 ②平成 29 年度計算関係書類及び財産目録の承認の件 ③厚生苑の新名称の件
			報告	①平成 30 年度 事業計画及び収支予算について
2 (第 63 回)	平成 30 年 12 月 18 日 (火) 午後 4 時 00 分から午後 5 時 05 分まで 於：クーポール会館 2 階 有明	8 人／8 人 〔2 人／2 人〕	議案	①定款変更の件
			議案	①平成 30 年度 上半期収支状況の報告 ②平成 30 年度 第一次収支補正予算の報告 ③各種規程の改廃・制定に関する報告

### 3 監査（開催回数 3 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
監事監査〔決算監査〕 平成 30 年 5 月 23 日(水) 午前 9 時 30 分から午後 3 時 30 分まで 統括事業本部／厚生苑清流の郷 厚生苑／さくらの郷	監 事 長 長 嶋 吉 宏 大 石 哲 生 理 事 長 内 藤 孝 二 副 理 事 長 寺 尾 恵 亘 専 務 理 事 松 田 晃 本 部 部 長 江 田 仁 厚生苑清流の郷施設長 中 川 恵 美 子 厚生苑施設長 中 山 千 砂 子 他、担当職員	「監事のための監査チェックマニュアル改訂第 11 版」による 平成 29 年度 決算監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況 (会計監査) 予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設
監事監査〔定期監査〕 平成 30 年 11 月 5 日(月) 午前 9 時 30 分から午後 3 時 45 分まで 統括事業本部／厚生苑清流の郷 厚生苑新緑の郷／さくらの郷	監 事 長 長 嶋 吉 宏 大 石 哲 生 理 事 長 内 藤 孝 二 副 理 事 長 寺 尾 恵 亘 専 務 理 事 松 田 晃 本 部 部 長 江 田 仁 厚生苑清流の郷施設長 中 川 恵 美 子 厚生苑新緑の郷施設長 中 山 千 砂 子	「監事のための監査チェックマニュアル 改訂第 11 版」による 平成 30 年度 定期監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉寿実計画 (会計監査) 内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設

開催日時等	実施立会	監査項目
<p>静岡市指導監査 (実施:静岡市福祉総務課) 平成31年1月31日(木) 午前9時30分から午後3時20分まで 統括事業本部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷</p>	<p>監事 長 長 高 吉宏 大石 哲生 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 本部部长 江田 仁 厚生苑清流の郷施設長 中川 恵美子 厚生苑新緑の郷施設長 中山 千砂子</p>	<p>平成30年度 社会福祉法人指導監査 ・組織/運営・資産/負債・会計/経理 社会福祉施設指導監査 ・処遇関係・会計/経理関係 ・運営/管理関係</p>

#### 4 主要会議・行事

##### (1) 経営会議(開催回数12回)

開催日時	出席者
<p>上半期 平成30年 4月19日(木) 5月16日(水) 6月21日(木) 7月19日(木) 8月20日(月) 9月21日(金)</p>	<p>下半期 平成30年 10月17日(水) 11月19日(月) 12月18日(火) 平成31年 1月22日(火) 2月21日(木) 3月22日(金)</p>
	<p>出席者 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 常務理事 中川恵美子 理事 海野フミ子 理事 中山千砂子 ほか他部職員</p>

##### (2) JA静岡市高齢者福祉事業提携委員会

開催日時	委員会	オブザーバー
<p>平成30年 9月11日(火) 午後4時15分から午後4時50分まで 於:マイホテル竜宮</p>	<p>委員長 芹澤 博 委員 青山 吉和 榎本 雅亮 海野フミ子 松田 晃 中山 千砂子</p>	<p>静岡県 厚生農業協同組合連合会 業務部 保健医療福祉課 課長代理 白鳥 太亮氏</p>

##### (3) 顧問・相談役報告会

開催日時	出席者	報告者
<p>平成30年 7月19日(木) 午前11時00分から午後0時00分まで 於:厚生苑さくらの郷 1階 役員会議室</p>	<p>相談役 芹澤 博</p>	<p>理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 常務理事 中川恵美子 理事 中山千砂子</p>

##### (4) 経営分析会議

開催日時	講師	出席者
<p>平成30年10月23日(火) 午後3時30分から午後5時10分まで 於:中島屋グランドホテル 3階 サフラン</p>	<p>杉山公認会計事務所 所長 杉山 明喜雄 「平成29年度決算分析」 石上社会保険労務士事務所 代表 石上 未紀 「働き方改革とは」</p>	<p>出席者 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 常務理事 中川恵美子 理事 海野フミ子 中山千砂子 監事 長 高 吉宏 取引先金融機関ご担当者 及び本会幹部職員</p>

##### (5) 次年度新卒者内定式

開催日時	採用者	出席者
<p>平成30年11月19日(月) 午前11時30分から正午まで 於:クーパー会館 4階 出雲</p>	<p>高校生 3人 大学生 1人 計4人</p>	<p>出席者 理事長 内藤 孝二 専務理事 松田 晃 常務理事 中川恵美子</p>

## 5 地域貢献事業

### (1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

高齢者の日頃の生活課題への対応を通じて高齢者福祉の充実と地域福祉の推進のため、委託であった地域包括支援センターを終了し、社会福祉法人の地域貢献事業の一つとして老人福祉法で定める老人介護支援事業を運営しています。

本年度も高齢者の相談事業の他に、地域住民の福祉活動を支援するため、安西ふれあいフェスタや S 型デイサービス等に職員を派遣しました。また、安西学区の地域交流サロン「い〜とこあんざい」では、厚生苑さくらの郷 1 階を提供し、地域の主催ボランティア及び運営委員と協働して当該サロン運営のサポートを行いました。この活動については、静岡市の関心もあって、11 月には静岡市長はじめ行政担当部局幹部が視察に訪れました。

更に、地域民生委員及び有志により発足した「静岡市でん伝体操厚生苑さくらの郷」に開催運営の支援を行い、現在では、週 1 回の定期開催で毎週 34 名程度の地域高齢者の参加があります。

その他、こうした住民の地域福祉活動に寄与できるよう安西地区の地域福祉推進協議会や民生児童委員協議会の定例会にも出席し、地域の方々との福祉の連携の強化に努めました。

#### ① 地区別 年間相談件数

地区	安西	番町	圏域外	匿名	合計	他機関紹介
相談人数	0 人	0 人	1 人	3 人	4 人	4 人
対応件数	0 件	0 件	1 件	2 件	3 件	3 件

#### ② 相談内容（相談内容により複数にカウント）

相談内容	総計	相談内容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援	1 件	退院に関する相談	
認知症の相談		障害に関する相談	
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他		地域の情報提供（S 型デイ等）	
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1 件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談	1 件	総計	3 件

#### ③ 地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い〜とこあんざい」のサポート

イ) しぞ〜か でん伝体操 厚生苑さくらの郷会場の開催支援

ウ) S 型デイサービス ひまわりの会（末広町公民館）への応援職員の派遣

月	い〜とこ あんざい		でん伝体操		S型デイサービス
	開催回数	利用者数	開催回数	利用者数	応援回数
4月	4回	33人	4回	120人	2回
5月	3回	25人	4回	141人	2回
6月	5回	43人	4回	146人	2回
7月	3回	16人	4回	118人	1回
8月	5回	40人	5回	148人	2回
9月	4回	25人	4回	117人	2回
10月	4回	27人	4回	135人	2回
11月	4回	58人	5回	174人	2回
12月	3回	35人	3回	114人	1回
1月	3回	17人	4回	162人	2回
2月	4回	35人	4回	148人	2回
3月	5回	68人	3回	102人	1回
合計	47回	422人	48回	1,625人	21回

## (2) 高齢者の外出支援事業（安西おでかけ号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出等が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両 軽自動車）の貸し出しを行う事業を始めた。初年度のため利用件数は少なく、今後に向けて普及啓発PRを行う。

貸出月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
車両貸出件数	0件	0件	0件	1件	0件	0件	1件

## (3) 地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマンパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。

登録制で、活動内容は興行やイベント・発表ではなく、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録ボランティア	0人	0人	11人	11人	11人	11人	11人
活動予定	0回	0回	33回	32回	33回	35回	133回
活動実績	0回	0回	27回	29回	29回	32回	117回

## (4) 生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業で9月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流の郷の介護の補助業務の体験就労を提供することになりましたが、本年度の利用はありませんでした。

## 6 第三者委員会苦情解決報告会・優先入所判定会の開催状況

回数	実施日	開催方法	苦情件数	
			清流の郷	新緑の郷
1	4月26日	合同	-	-
2	5月30日	合同	特養1件	-
3	6月28日	合同	-	-
4	7月24日	合同	-	-
5	8月31日	合同	-	-
6	9月28日	合同	-	-
7	10月31日	合同	-	-
8	11月29日	合同	-	-
9	12月21日	合同	-	-
10	1月24日	合同	特養1件	-
11	2月28日	合同	-	-
12	3月25日	合同	-	-
計			特養2件	-

## 7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

(1) 新人研修…新卒採用職員の定着率及び基礎力向上を目的に年間を通じて研修会を開催した。

実施日	形式	項目	内容	出席者数
4月2日～9日	集合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	3人
4月25日	集合	振り返り	マナーカテスト	3人
5月7日～11日	個人	フォローアップ	業務内容・姿勢の確認	各1人×3
5月22日	集合	振り返り	ケアプラン振り返り	3人
5月25日	個人	振り返り	感染症振り返り	各1人×3
5月28日～30日	個人	個人面接	現在の悩み・次の目標など	各1人×3
5月31日	集合	医療研修	医療の基本知識の学習	3人
6月4日～5日	集合	技術研修	支援技術の振り返り	3人
8月20日	集合	職員モラル	マナーモラルチェック研修&課題検討	3人
11月期中	個人	振り返り・確認	身体拘束廃止と虐待予防研修	各1人×3
11月21日	集合	振り返り・確認	フォローアップセミナー	3人
3月11日～13日	個人	基本技術評価	現状確認とフィードバック	各1人×3

(2) 内部研修…指導職はじめ運営での課題を中心に内部研修会を開催した。

実施日	形式	対象者	内容	出席者数
6月6日	集合	主任・副主任	マネジメント研修	23人
8月29日	集合	希望者	アンガーマネジメント	13人
9月5日	集合	2年目職員	介護拒否場面の不適切ケアへの気づき	5人
9月6日	集合	3年目職員	職場内コミュニケーション(家族とのコミュニケーション)	6人

(3) 外部研修…職員のスキル及び職員の希望に沿って、外部の研修及び講習会に参加した。

月	研修人	主催	清流の郷	新緑の郷	さくらの郷
4	介護支援専門員実務研修受講試験対策講習会 (10回)	静岡県介護労働安定センター	－人	1人	－人
5	医療的ケア教員講習会	資格の学校	－人	1人	－人
	県地域包括・在宅介護支援センター管理者・現任職員研修	地域包括在宅介護支援センター協議会	－人	－人	1人
	介護現場におけるプリセプター養成研修 (2回)	静岡県介護福祉士会	1人	－人	－人
	感染症講座 (初級編)	静岡県社会福祉人材センター	1人	1人	－人
	接遇・マナー・コミュニケーション講座		人	1人	－人
	認知症の人のためのレクリエーション		1人	1人	－人
	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座		－人	1人	－人
	福祉職キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース(3回)		1人	－人	－人
認知症介護基礎研修	静岡県介護福祉士会	1人	－人	－人	
6	幸せな最期を迎えるために ターミナルケア研修	静岡県介護福祉士会	1人	－人	－人
	人生の最終段階を迎える方のサポートを考えるセミナー	静岡県社会福祉人材センター	1人	－人	－人
7	「承認マネジメント」	静岡県老人福祉協議会	1人	－人	－人
	介護福祉士実習指導者講習会(4回)	静岡県介護福祉士会	1人	－人	－人
	接遇マナー研修会	静岡県老人福祉協議会	1人	－人	－人
	通所介護部会	静岡県厚生農業組合連合会	2人	－人	－人
	介護支援専門員実務研修受講試験対策講習会	静岡県介護労働安定センター	－人	1人	－人
8	安全運転管理者・副安全運転管理者講習会	静岡県公安委員会	1人	1人	－人
	介護現場における口腔ケア講習	静岡県社会福祉人材センター	－人	1人	－人
	第10回 高齢者福祉研究大会	静岡県老人福祉施設協議会	9人	3人	－人
	福祉サービス苦情解決研修会	静岡県社会福祉協議会	1人	－人	－人
	試験評価者養成講習会	シルバーサービス振興会	－人	－人	1人
9	栄養講習会	静岡市保健所	1人	－人	－人
	介護職員等 喀痰吸引等 研修 (9回他実地研修)	静岡県介護福祉士会	1人	1人	－人
	静岡市介護予防支援従事者研修会	静岡市地域包括ケア推進本部	2人	－人	－人
	介護人材育成事業説明会	静岡県介護保険課	－人	－人	1人
10	介護福祉士実習指導者講習会(4回)	静岡県介護福祉士会	－人	1人	－人
	第10回 高齢者福祉研究大会 ～研究発表 again～	静岡県老人福祉施設協議会	3人	－人	－人
	静岡県地域包括ケアシンポジウム	静岡県社会福祉協議会	－人	－人	2人
	ボランティアコーディネーター養成研修		－人	－人	1人
	全国老人福祉施設研究大会北海道大会 (2日間)	全国老人福祉施設協議会	1人	1人	－人
11	リーダーの役割・指導研修	静岡市介護保険事業者連絡協議会	1人	－人	－人
	静岡県 JA 介護保険事業従事者レベルアップ研修会	静岡県厚生農業協同組合連合会	2人	1人	－人
	福祉職合同入職式出席者フォローアップセミナー	静岡県社会福祉人材センター	3人	－人	－人
	全国老人福祉施設大会 北九州大会 2日間)	全国老人福祉施設協議会	1人	1人	－人
12	介護福祉士国家試験対策講座 (3回)	静岡県介護福祉士会	5人	2人	－人
	静岡県 JA 介護保険事業従事者レベルアップ研修会	静岡県厚生農業協同組合連合会	4人	1人	－人
	静岡県介護支援専門員再研修(11回)	静岡県介護支援専門員協会	1人	－人	－人

1	介護現場で即役立つ 福祉レクリエーション講習	静岡県介護労働安定センター	1人	2人	-人
2	介護職のための医学の基礎知識	静岡県介護労働安定センター	2人	1人	-人
	介護職のための介護技術講習(上級編)(2回)	静岡県介護労働安定センター	2人	-人	-人
	社会福祉士実習指導者講習会(2回)	静岡県社会福祉協議会	-人	-人	1人
	介護技術「ポジショニング・シーティング」(基本編)	静岡県介護労働安定センター	-人	1人	-人
	平成30年度 介護支援専門員研修会	静岡市地域包括ケア推進本部	3人	-人	-人
	平成30年度中部支部総会及び管理者研修(2日間)	静岡県老人福祉施設協議会	1人	-人	-人
	静岡県JA介護保険事業研究集会	静岡県厚生農業協同組合連合会	4人	2人	-人
3	平成30年度全国経営協高齢者福祉事業経営セミナー	全国社会福祉法人経営者協議会	-人	-人	2人
	しぞ〜か ちゃきちゃき体操 実技研修	静岡市保健福祉長寿局	2人	1人	-人
	『地域で暮らす』を支えることを共に考えよう	静岡県老人福祉施設協議会	3人	1人	-人
	介護医療コンシェルジュロボットの施設実証実験	社会福祉法人天竜厚生会	1人	-人	-人
	介護福祉士実習指導者講習会(4回)	専門学校高崎福祉医療カレッジ	-人	-人	1人
	介護技術「ポジショニング・シーティング」(上級編)	静岡県介護労働安定センター	1人	1人	-人
	視聴覚研修(映画 ポケますからよろしくお願いします)	静岡県介護保険事業者連絡協議会	3人	1人	-人
年間合計(111人)			71人	30人	10人

(4) その他 … 資格取得や制度の利用方法など職員から希望のあった内容に沿って説明会を開催した。

説明会	実施日	出席者数
社会福祉士・介護福祉士取得方法	6月14日・21日	7人
教育訓練給付・ふるさと納税制度利用	6月26日・28日	9人
介護支援専門員取得方法	6月29日・7月2日	2人

(5) 資格取得・保有者

項目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員	精神保健福祉士	公認心理士
受験者数	7人	4人	3人	1人	0人
合格者数	5人	1人	0人	1人	0人
合格率	71.43%	25.00%	0.00%	100.00%	0.00%

(6) 講習資格受講者・保有者(※…受講中の者を含む)

項目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員 講習	医療的ケア 教員講習	主任介護支援 専門員講習	防火管理者 講習
受験者数	※1人	3人	1人	0人	1人	0人	0人
受講済者累計	13人	9人	6人	1人	4人	5人	9人

(7) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実習者数	12人	3人	1人	2人	3人	21人
受入延日数	186日	75日	5日	2日	12日	280日

(静岡福祉大学、静岡女子高等学校、英和学院大学、明光会ほか)

## 8 各種施設・事業所の計画と実績

『別冊に記載』



平成 30 年度

厚生苑 清流の郷

事業報告

## 清流の郷 優先課題の総括

### (1) 利用者の看取りに対応した職員のメンタルケアの支援と充実

★★★★☆ 4.0/5.0

当該年度は、48人が死亡退所となり、うち9割以上の45人を施設で看取ることができました。対応した介護職員の思いを他職種で受け止めるとともに、介護職員で看取りの研修を通じて専門職としての自律性が高まりました。若年層へのサポートが引き続き必要です。

### (2) 中重度及び終末期利用者に対応した介護技術研修の実施

★★★★☆ 4.0/5.0

新人職員には、年間を通じて定期的な介護チェックシートを活用し、当苑施設での介護力の成熟度を確認しました。また、多職種間との情報共有により事故を未然に取り組むことができました。更に、ボディメカニクスを基礎とした介護技術向上を進めています。

### (3) 実践研究発表等を通じて職員間の交流と専門性の向上

★★★★★ 5.0/5.0

日頃の取組みが実践研究発表会にノミネートされ優秀賞を受賞、他の施設の実践事例なども紹介され、実践発表にむけた職員間の交流と一人ひとりの専門性も向上したと思います。

### (4) 中重度利用者に対応したレクリエーション活動と季節行事の研究と実施

★★★☆☆ 3.0/5.0

今年も地域行事である「水神祭」に利用者と職員で共に参加することができました。

また、1階に会場設営してのゲーム大会は、利用者にとっても好評でした。ADLが高くなく、限られた条件の中でのレパトリーを増やしていくことが課題です。

### (5) 職員のモチベーション維持向上による離職防止と定着化

★★★☆☆ 3.0/5.0

日常の業務がパターン・ルーティーン化してしまうことが無いよう介護の働き方に注目し、行事やレクリエーション活動の企画の立案から実施まで、介護職員としてのモチベーション維持向上に努めた。マンネリ化しない仕組みづくりを検討して必要がある。

### (6) 介護機器導入等による身体的負担の軽減と介護事故の防止

★☆☆☆☆ 1.0/5.0

見守りロボットを導入したが、対象となる利用者がおらず効果を生み出していません。機器の性能や汎用性などの理解を深めるとともに、運用に沿った機器活用の検討が不十分です。

(7) 実習生やボランティアの積極的な受入れによる開かれた施設化

★★☆☆☆ 2.0/5.0

多くの実習生を受け入れ、実習指導を通じて、個々の業務の振り返りが行えた。施設ボランティアについては一定以上の参加活動はありますが、高齢化し固定化してきているため、新しいボランティアや各種団体が参加しやすい工夫が必要です。

(8) サービスにおける人権の尊重と不適切な介護の予防

★★★★☆ 4.0/5.0

定期的に施設内研修と不適切介護のアンケート調査を実施しましたが、苦情や内部通報もなく、利用者に対するハラスメントは見受けられなかった。ハラスメントに対する関心が高まってきており、引き続き注意していきたい。

(9) 利用者家族との円滑な情報の共有と連携及び協働

★★★★☆ 3.0/5.0

他職種間同士で発見した利用者の変化や変調を生活相談員に伝達集約し、家族への速やかな連絡とその対応の意思確認を図りながら介護現場における迅速な対応に心がけました。生活相談員が不在な場合や、連絡が取りづらい家族との対応が課題です。

(10) この他運営の安定化に向けた工夫と迅速な対応

★★★★☆ 2.0/5.0

居宅介護支援事業所との連絡体制が整備され、看取りによる空床部屋の活用としてショートステイの顧客確保に努め、施設全体として稼働率の向上につながりました。ただ、居宅介護支援事業所の利用者の希望する日の対応は難しく再開まで課題です。

主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	2日(月)～
	厚生苑清流の郷・厚寿苑合同入所説明会(第1・第3水曜日)	毎月2回開催等
	運営会議(時間外勤務の記入、新卒者OJT、他)	16日(月)
5月	運営会議(ケース記録と事故について、監事監査、他)	15日(火)
	平成30年度第1回事業監事監査	23日(水)
	介護士会(食中毒、危険予測演習、他)	18日(金)
6月	主任・副主任指導職 職員研修	6日(水)
	運営会議(新入職員、研究発表会、近隣の特養開設、他)	15日(金)
	職員共済会総会	15日(金)
7月	静岡女子高等学校介護実習	2日～13日
	運営会議(ボランティア受入の輪番調整、実習生受入、他)	13日(金)
8月	職員健康診断	8月～9月
	ばんばん夏祭り	5日(日)
	高齢者福祉研究発表大会	20日(月)
	運営会議(職員の体調管理、実習生受入、水神祭レク大会、他)	15日(水)
	介護士会(身体拘束、オムツの当て方説明会)	24日(金)
	静岡市老人福祉施設連絡会	27日(月)
	静岡女子高等学校介護実習	1日～3日
	静岡福祉大学社会福祉士・介護福祉士養成課程実習受入	8月～9月
9月	静岡市老人福祉施設連絡会	9日(日)
	敬老式典、各フロア敬老会	9日(日)他
	運営会議(水神祭、学生実習受入、他)	14日(金)
	柳町水神社祭	23日(日)
10月	介護力向上研修 研究発表 Again!	5日(金)
	入所者健康診断	10・11・18日
	介護士会(インフルエンザ・ノロウイルス・誤嚥性肺炎について、他)	12日(金)
	運営会議(実習生の感想、防災訓練、他)	15日(月)
	総合防災訓練	19日(金)
11月	床面洗浄・ワックス塗布掃除	2・4・6・8日
	上半期監事監査	5日(月)
	入所者インフルエンザ予防接種	7日・21日
	運営会議(経営分析会議報告、監事監査、健康診断の時間外請求、他)	15日(木)
12月	柳町町内会防災訓練	2日(日)
	静岡市老人福祉施設連絡会	6日(木)
	職員共済会忘年会	6日(木)
	運営会議(経営会議・基幹会議報、他)	14日(金)
1月	年頭所感	4日(金)
	運営会議(食事、急変時の対応、火災感知器作動時の確認方法、他)	15日(火)
	静岡市指導監査 静岡市高齢者福祉課	31日(木)
2月	運営会議(静岡市指導監査報告、面会制限について、他)	14日(木)
3月	職員腰痛検査	13・15・19日
	運営会議(介護サービス評価の実施、新人研修、書類処分、他)	15日(金)
	静岡県老人福祉施設協議会・総会	19日(火)
	静岡市老人福祉施設連絡会	25日(月)

# 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

## ア. 運営概要

本年度は、昨年続き採用数の減少や産休育休による人員不足によって、ショーステイを再開することができず、運営、経営面で厳しい環境になりました。

施設では、「終の棲家」として、多くの退所者を看取ることができました。退所と共に入所される利用者数も多い為、職員それぞれ「不安」な思いがありました。看取りに対し、若く経験の少ない職員に対しては、他職種で受け止めながら研修を通し、メンタルケアの支援と充実に努めてきました。また、利用者が安心・安全な生活ができるよう、新人職員には、年間を通し介護チェックシートを活用し介護技術の向上を進め、大きな事故もなく安堵しています。

さらに、職員にやりがい・楽しみを感じることができるよう、専門性の向上として介護実践研究発表会参加や、他施設での活動を知ることにより刺激を受けることができました。離職防止に向けた活動では、季節行事の見直しと新たな取り組みとして、職員と利用者参加のゲーム大会を行い、大変好評でした。例年施設内見学を楽しみにしていた、「安倍川花火」が台風の為中止となってしまい大変残念でした。

また、地域との連携とし、柳町の「水神祭」「地域防災訓練」など、参加させていただきました。施設防災訓練は、夜間想定震度6の地震が発生し、大規模停電が同時に起きた時の職員の動きを訓練実施することができました。

## イ. 利用状況

### ■ 市町村別／性別人員

平成 31 年 3 月 31 日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	21	—	—	21
女	90	1	—	91
合 計	111	1	—	112

### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	—	—	—	—	—	—
	60～64	—	—	—	—	—	—
	65～69	2	1	—	—	—	3
	70～74	2	1	—	—	—	3
	75～79	2	12	—	—	—	14
	80～84	1	11	—	—	—	12
	85～89	10	25	—	1	—	36
	90～94	2	20	—	—	—	22
	95～99	1	17	—	—	—	18
	100～	1	3	—	—	—	4
平均年齢		男 83.8 歳		女 88.0 歳		全 体 87.2 歳	

## ■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	0	1	6	9	5	21
女	2	2	18	41	28	91
合 計	2	3	24	50	33	112
割 合	1.79%	2.68%	21.43%	44.64%	29.46%	平均介護度 3.97

## ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時） 9・23日 民謡クラブ 10日 電電萩の会歌の会 25日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
5 月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時） 7・21日 民謡クラブ 30日 書道クラブ	個人ボランティア
6 月	あじさい、父の日レクなど（各フロア随時） 11・25日 民謡クラブ 12日 電電萩の会歌の会 14日 静岡ホーム保育園訪問 16日 英和女学院 花の日訪問 27日 書道クラブ	英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 静岡ホーム保育園 個人ボランティア
7 月	七夕レクなど（各フロア随時） 9・23日 民謡クラブ 10日 電電萩の会歌の会 25日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
8 月	夏のレクなど（各フロア随時） 6・20日 民謡クラブ 14日 電電萩の会歌の会 29日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
9 月	敬老週間など（各フロア随時） 3・10日 民謡クラブ 9日 敬老式典 11日 電電萩の会歌の会 23日 柳町水神社祭 26日 書道クラブ	電電萩の会 柳町町内会・婦人会 個人ボランティア
10 月	運動会レクなど（各フロア随時） 15・29日 民謡クラブ 9日 電電萩の会歌の会 中旬 入居者健康診断 24日 書道クラブ 19日 総合防災訓練 20日 英和女学院 秋の収穫訪問	電電萩の会 静岡市追手町消防署等 柳町町内会 個人ボランティア 英和女学院中等部・高等部
11 月	運動会レクなど（各フロア随時） 12・26日 民謡クラブ 13日 電電萩の会歌の会 中旬 インフルエンザ予防接種 28日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア

	行 事	地域ボランティア協力・支援
12月	クリスマスレクなど（各フロア随時） 3・17日 民謡クラブ 11日 電電萩の会歌の会 26日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
1月	お正月レクなど（各フロア随時） 8日 電電萩の会歌の会 7日 民謡クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
2月	節分レクなど（各フロア随時）	
3月	雛祭レクなど（各フロア随時） 4・18日 民謡クラブ 12日 電電萩の会歌の会 27日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア

\*その他、おやつバイキング、デイサービスでの俳句の会や歌のボランティア等に参加

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日
余 暇	電電萩の会歌の会	月 1 回	看 護	総回診	月 4～5 回
	民謡クラブ	月 2 回		皮膚科往診	月 2 回
	書道教室	月 1 回		歯科指導	月 1～2 回
	レクリエーション（季節行事）	随 時		入居者健康診断	年 1 回
	外 出	随 時		インフルエンザ予防接種	年 1 回
	リハビリ体操（各フロア）	毎 日		血圧測定	週 2 回
	おやつバイキング	随 時	栄 養	嗜好調査	半年毎
	誕生会（各フロア）	月 1 回		体重測定	月 1 回
介 護	入 浴	月 8～9 回	防 災	季節行事食	随 時
	シーツ交換	月 4～5 回		防災訓練（月 1 回）	総合防災訓練 年 1 回
	ケアカンファレンス	月 10 回程度			
	理 髪	月 3 回			
	美 容	随 時			

## 2. デイサービスセンター清流の郷

### 運営概要

利用者様に充実した時間を過ごしていただけるよう、安全な送迎や個別サービス、家族との良好な関係の構築、ケアマネとの連携を深めることを目指しました。

また、ふれあいボランティアを受け入れる事で、地域の方にやりがいの場を提供でき、介護職員は専門的な介護に集中することができました。双方にとって良い相乗効果をもたらし、利用者にも目の行き届きやすい環境を作ることができました。

毎年、寒い季節には、インフルエンザ等の流行により利用者減の傾向にありますが、今年は送迎車内やデイルーム消毒の徹底等、早めの対策を実施することで大幅な流行はみられませんでした。

平成31年4月よりADL維持等加算の算定を開始する予定の為、他事業所の見学や個別機能訓練メニューの見直しなどを行い、実施へ向けた準備を整えました。

\*JA みずほの郷 サテライト事業所は、同地域にデイサービス事業所が多いため、平成30年1月から一時休止しております。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見 子供の日小物作り	～毎月～
5月	母の日 あじさい作り	カレンダー作り
6月	父の日 七夕飾りつけ	体重測定
7月	七夕祭り 夏祭り準備	体力測定
8月	夏祭り 敬老の日準備	防災訓練
9月	敬老の日 運動会準備	書道
10月	運動会 秋の飾りつけ	季節の小物作り
11月	壁面作り クリスマス準備	～毎日～
12月	クリスマス会 お正月準備	脳トレ パズル 計算 塗り絵
1月	正月遊び 壁面作り	生活機能向上運動（個別）
2月	節分 お雛様作り	集団機能向上訓練
3月	雛祭り 壁面作り	嚙下体操 作業療法

## 3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

### 運営概要

平成30年4月より「特定事業所加算II」の算定要件が厳しくなり、地域、医療機関や包括支援センターとの更なる連携強化はもとより、他事業所居宅との事例検討会の開催が求められることとなりました。他の社会福祉法人との事例検討会を開催し、ケアマネジメントについての新たな気づきを得ることができ、自他事業所の地域性や社会資源について情報交換をすることで、介護保険だけではなくインフォーマルサービスの活用の重要性について再認識する事ができました。

毎週開催したミーティングを通して、ケースの共有と具体的対応の検討、認知症と薬の理解、介護保険以外の諸制度についての知識を深め共有するとともに、個々のケアマネが自発的に職能団体の研修に参加し、ケアマネジメント技術の更なる向上に努めました。

居宅介護支援事業所の管理者の要件が主任介護支援専門員に限定されることになるため、他事業所の休止などもあり、引き継いだケースもありましたが、担当件数は年間を通して大きな変動はありませんでした。しかし、全プラン数のうちの事業対象者・要支援の方が4割を超えており、収支として大きく伸びない現状があります。

家族不和、家族の精神疾患、経済困窮などの問題を複合的な問題を抱えたケースが年々増加する傾向にありますが、事業所内や他機関への相談と連携を図り、問題解決に努めました。

#### 4. 厚生苑ホームヘルプサービス

##### ア. 運営概要

本年度の運営方針に従い、サービス提供責任者が利用者の現状や意向を見極め、できるだけ長く在宅生活が継続できるよう迅速かつ的確なサービスの提供に努めました。事業運営面では、登録ヘルパーの減少などもありここ数年厳しい状況が続いています。前年度と比べて訪問回数が月平均約100件減となりました。独居、高齢者のみ世帯が年々増加する傾向は依然として続いています。入所施設の多様化や利用者家族の意向から、介護が必要な状態となってから施設入所までの期間が短くなってきており、数日や1ヶ月未満での利用ケースも多くなっています。

利用者の制度への知識や権利意識も年々高くなってきており、介護保険で認められている範囲だけではカバーしきれないニーズのある利用者が増えてきており、特に通院の付き添いなどの需要が多い傾向にあります。また、前年に引き続き、全体に占める事業対象者・要支援の方の訪問回数が増えています。月2回のヘルパーミーティングで内部研修や情報の共有化を行い、質の高いサービスの提供ができるよう努めました。

##### イ. 利用状況

###### 利用世帯状況と構成

(平成31年3月31日現在)

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯（利用料負担率10・20%）	66世帯	ひとり暮らし	48世帯
社会福祉法人減免世帯（7.5%）	1世帯	高齢者世帯	7世帯
生活保護世帯（0%）	7世帯	その他	19世帯
合計	74世帯	合計	74世帯

最低年齢58歳 最高年齢102歳

## 5. 各種委員会・会議活動

### ア. 生活向上委員会

#### ①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

1年を通して、身体拘束ゼロを達成できました。ベットからの転落の危険性の高い方については、超低床ベットなどの福祉用具の活用をしています。新たに「身体拘束廃止等適正化のための指針」を定め、職員へ周知しました。高齢者虐待については、全職員が「虐待予防・発見チェックシート」を実施し、日常の介護の振り返りを行いました。

#### ②安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリッハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。研修として、介護士会議で危険予知訓練を実施し、グループワークを通して介護事故を未然に防ぐ視点についてディスカッションしました。感染症については、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザについて、平常時対応と発生時対応について検討を行いました。研修として、嘔吐物の処理方法について実技訓練を実施しました。

#### ③食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、毎月の食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、協力歯科医師から毎月歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、委員会内で共有を行いました。委員会での取り組みを第10回静岡県老人福祉施設研究大会で発表し、優秀賞を授与されました。

#### ④入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏の種類や効能と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、機能訓練指導員から、ベット臥床時の安楽な体位の保ち方、車イスの選定方法や車イス上での良い姿勢の保ち方、耐圧分散クッションの効果について助言を受けました。安全な入浴を提供できるよう、塩素消毒方法や浴室メンテナンスについての統一を行いました。

#### ⑤広報・アクティビティ委員会

利用者楽しんでいただけるレクリエーションの企画、掲示物の作成を実施しました。おやつバイキング、クリスマス、節分など、季節行事をフロア毎に行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。地域行事の「水神祭」に参加し、午前中は施設内でレクリエーション大会を実施し、夕方からは地域の方と一緒にお祭りを楽しみました。季節に合わせた掲示物の作成を行い、利用者や家族の方に楽しんでいただきました。

#### ⑥排泄委員会

紙オムツのあて方講習会を計画し、フロアでの課題をまとめ、介護士会議で実技を踏まえた講習会を実施しました。紙オムツの商品選定やコスト削減についての検討を行いました。利用者にあった排泄介護方法の検討やパットの選定、オムツ外しの取り組みについて検討を行い、オムツ外しを達成できた方についての情報共有を行いました。

## イ. 会議活動

### ①基幹会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

### ②施設運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・栄養士・看護師・所長・フロアリーダー・生活相談員などによる会議を開催、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

### ③フロア会議

毎月1回、フロア毎に開催し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題や、ケア内容についての検討や決定をしながら、情報の共有を行いました。

### ④ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。

### ⑤施設介護職員会議

外部研修報告、内部研修などを計画的に行いました。

### ⑥通所介護サービス会議

毎月1回、基幹会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

### ⑦衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

### ⑧防火・防災管理委員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。4月には新人職員向けの消火器取り扱い訓練、10月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。12月の柳町防災訓練へ参加しました。

### ⑨優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2人の参加、法人内居宅介護支援事業所の介護支援専門員を交え、両施設の施設長、副施設長、介護課長、課次長、相談員、看護師、栄養士が参加しました。多角的立場から様々な意見を交わし、入所申込者のうち優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。

### ⑩ミールラウンド

協力歯科医師、看護師、管理栄養士、介護支援専門員、介護職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を、毎月2回行いました。

## 6. ボランティア活動

### ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均  (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	7	16	1	10	6	6	-	-	0.53
5	6	9	2	5	4	4	-	-	0.29
6	8	48	2	10	4	4	2	34	1.60
7	5	17	2	14	3	3	-	-	0.55
8	6	13	2	9	4	4	-	-	0.42
9	6	17	2	13	4	4	1	10	0.57
10	9	33	3	18	5	5	-	-	1.06
11	6	17	2	13	4	4	-	-	0.57
12	3	11	2	10	1	1	-	-	0.35
1	3	15	2	14	1	1	-	-	0.48
2	1	1	0	0	1	1	-	-	0.04
3	3	15	2	14	1	1	-	-	0.48
計	63	212	22	130	38	38	3	44	0.58

### イ. 活動団体

- ・柳町町内会・婦人会・電電萩の会・英和女学院高等部・中等部・静岡ホーム保育園
- ・静岡福祉医療専門学校・籠上中学校・個人ボランティア他

平成 30 年度

厚生苑 新緑の郷

事業報告

## 新緑の郷 優先課題の総括

### (1) 組織力やチーム力向上のための職位・職制の明確化

★★★★☆ 4.0/5.0

介護における問題点の解決方法や職員の病気・ケガによるシフトの変更をフロア単位でなく、デイも含めた施設全体で考えることが出来ました。しかし、一部の職位を明確にできず組織として弱い面が残ったことは、次年度に引継ぎ課題となりました。

### (2) 夜勤業務改善と業務負担の軽減の試行

★★★★★ 5.0/5.0

8時間夜勤と17時間夜勤の2通りの時間帯の夜勤を1年間試行しました。重度化する利用者への対応や職員の負担を軽減する働き方を考慮し、結論をだしていきたいと思えます。

### (3) 情報端末等を活用した業務負担の軽減の試行

★★★★☆☆ 3.0/5.0

内部改修工事により見守りしながらパソコンが利用でき、勤務時間内に書類の作成ができるようになりました。また、4階フロアでは介護日誌もパソコン入力となりました。新緑の郷だよりをホームページに掲載し、施設内の活動を外部に示すことができました。他の端末利用方法については、次年度に繰り越し検討していく必要があります。

### (4) 中重度及び終末期利用者に対応した多職種間の連携強化

★★★★☆ 4.0/5.0

以前に比べ医療的ケアが増えており、情報の共有化は欠かせなくなっています。今年度も終末期の利用者に家族と共に寄り添い、多くの方を看取ることができました。このことは、「新緑の郷」の施設として大事にしていきたい特色でこれからも継続していきます。

### (5) 新たなレクリエーションや季節行事の研究

★★★★★ 5.0/5.0

毎月、エレベーター前に利用者の生活の様子を張り出すことにしました。その結果、家族からは好評の言葉をいただきました。また、職員は利用者の笑顔を引き出すため様々なレクリエーションの提供を考え、実践することができました。

### (6) 環境美化と施設内の収納物品管理の徹底

★★★★☆ 4.0/5.0

内部改修によって作られた書庫や介護準備室に物品を整理することができました。各フロアの物品の置き場所を統一することを心がけました。2階フロアの整頓と予備の介護物品の管理方法は課題が残っています。

(7) 地域における社会資源として開かれた施設の運営

★★★★☆☆ 3.0/5.0

地域の八雲神社の祭事には、利用者と共に参加し地域の方々との交流を持つことが出来ました。デイサービスでは、地域で生活する一人暮らしや低所得者の方々には法人独自の制度を設け、食事やおやつ代の減免を行っています。

(8) 現場に沿って柔軟に対応できる介護技術の応用力の向上

★★★★☆☆ 3.0/5.0

重度化や身体の高い利用者の介護方法については、日々リーダーを中心に話し合うことができています。新たな介護物品で負担が軽減できることも実感しました。反面、2人介助と負担の高い介護方法での対応も残っており、介護機器の導入も引き続き検討していきたいと思えます。

(9) サービスにおける人権の尊重と不適切な介護の予防

★★★★☆ 4.0/5.0

全体研修では定期的にコンプライアンス研修を行い、意識の統一を図りました。また、不適切ケアとは何かを委員会や会議で話し合い、不適切ケアを行わないための対応方法を学びました。

(10) この他運営の安定化に向けた工夫と迅速な対応

★★★★★ 5.0/5.0

申込者の少ない中、相談員が積極的に動き、看護職員・介護職員も重度の利用者を受け入れることを「特養の役割」との意識を持てたことは運営の安定に繋がっています。空床がでた時は、ショート再開を待ち望んでいる家族に声かけし、利用していただいたことで99.4%と高い稼働率で1年を終えることができました。

主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

月	実施事項	実施日
4月	八雲神社花見	5日～7日
	運営会議(ユニフォーム、夜勤体制)	11日(水)
5月	運営会議(研修について)	10日(木)
	喫茶レク	15日(火)
	平成30年度監事監査	23日(水)
	職員全体研修会「食中毒予防について」	28日(月)
6月	職員共済会総会	15日(金)
	運営会議(施設設備、納涼祭他)	25日(月)
	八雲神社(芽の輪くぐり)	30日(土)
7月	スイカ割り	23日・24日
	運営会議	25日(水)
	職員全体研修会「夜間救急対応、納涼祭」	27日(金)
8月	夏祭り	9日(木)
	運営会議(厚寿祭反省、敬老会)	23日(木)
	職員健康診断	
9月	職員健康診断	
	敬老会	9日(日)
	八雲神社(日待祭)	15日(土)
	運営会議	25日(火)
	職員全体研修(交通安全講習、不適切ケアについて)	27日(木)
10月	入所者健康診断	12日(金)
	総合防災訓練	16日(火)
	運営会議	24日(水)
	職員健康診断	
11月	監事監査	5日(月)
	入所者インフルエンザ予防接種	6日・20日
	運営会議	22日(木)
	特養 運動会	
	全体研修(感染症、KYT危険予知)	26日(月)
	職員健康診断	
12月	職員共済会忘年会	6日・12日
	理事会・評議委員会	18日(火)
	運営会議	26日(水)
	クリスマス喫茶レク	20日(木)
1月	運営会議	24日(木)
	職員全体会議(認知症研修について)	28日(月)
	市指導監査	31日(木)
2月	運営会議(全体研修開催月変更)	25日(月)
3月	職員腰痛検査	20日・22日
	職員全体会議「コンプライアンスについて」	20日(水)
	運営会議(委員会再編成)	25日(月)

# 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

## ア. 運営概要

平成27年度から始まった施設の大規模修繕計画は、昨年度の内部改修工事の完了をもって達成することができました。今年度は、施設の名称も「厚生苑 新緑の郷」と、地域に親しまれた「厚生苑」を冠に法人の一体化を表し、新たなスタートをきりました。

今年度は、職員の働きやすい体制を考える年となりました。短時間勤務の子育て世代の栄養士を2人雇用し、昼食時間の人手の必要な時間帯に重なる勤務としました。また、入所・デイとどちらの勤務も可能な職員も配置しました。職員人数も少ないことから、全職員が顔見知りで自然と言葉を交わす関係性もできました。このことから、不測の事態によるシフトの変更等には施設全体で考え、チーム力の向上に繋がりました。

今年度も18の方が退所となり、そのほとんどの方が看取りであり家族と共に利用者に寄り添う看取り介護ができました。利用者の観察や介護方法、医療的知識を学ぶことは、職員が成長する機会となりました。

一時、増加傾向にあった入所申込者も再び低迷してしまいましたが、全職種・職員が柔軟にスピーディに動いた結果、99.4%と高い稼働率に繋がりました。

今年度は静岡中央警察署より、「安全運転管理推進事業所」に任命され、安全運転を心がけ、毎朝、車の点検も行う仕組みを作りました。

## イ. 利用状況

### ■ 市町村別／性別人員

平成31年3月31日現在

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
男	7		－		－		7
女	29		1		－		30
合 計	36		1		－		37

### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	－	－	－	－	－
	65～69	－	－	－	－	－	－
	70～74	－	－	－	－	－	－
	75～79	1	－	－	－	－	1
	80～84	2	5	－	－	－	7
	85～89	2	6	－	1	－	9
	90～94	2	10	－	－	－	12
	95～99	－	5	－	－	－	5
	100～	－	3	－	－	－	3
平均年齢		男 85.4 歳		女 91.3 歳		全 体 90.2 歳	

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	－	1	2	4	－	7
女	1	1	7	15	6	30
合計	1	2	9	19	6	37
割合	2.70%	5.41%	24.32%	51.35%	16.22%	平均介護度 3.73

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4月	5～7日 お花見外出レク 5日 シルバーロマン 11日 フラワーアレンジメント 17日 ペパーミント 24日 書道教室 25日 中山さんと歌う会 26日 ウクレレトロピカルズ	シルバーロマン ウクレレトロピカルズ 個人ボランティア（2人）
5月	14日 運動会 9日 フラワーアレンジメント 22日 ペパーミント 26日 書道教室 30日 ひとみ会	ペパーミント ひとみ会 個人ボランティア（2人）
6月	2日 裕代会 7日 やまぼうし 13日 フラワーアレンジメント 14日 中山さんと歌う会 19日 ペパーミント 22日 書道教室 25日 歌唄ひろの 28日 ふじの会 30日 芽の輪くぐり	裕代会 歌唄ひろの ふじの会 シルバーロマン 個人ボランティア（4人）
7月	9日 中山さんと歌う会 11日 フラワーアレンジメント 24日 中山さんと歌う会 25日 ひとみ会 27日 書道教室	ひとみ会 個人ボランティア（4人）
8月	8日 フラワーアレンジメント 14日 ペパーミント 22日 中山さんと歌う会 24日 書道教室 30日 やまぼうし	やまぼうし 個人ボランティア（4人）
9月	9日 敬老式典 11日 ペパーミント 12日 フラワーアレンジメント 13日 中山さんと歌う会 17日 やまぼうし 25日 書道教室 26日 ひとみ会 27日 日待祭	やまぼうし ひとみ会 個人ボランティア（4人）

	行 事	地域ボランティア協力・支援
10月	9日 シルバーロマン 10日 フラワーアレンジメント 23日 夜間想定防災訓練 23日 書道教室 30日 ペーパーミント	シルバーロマン 個人ボランティア（4人）
11月	11日 運動会 12日 新聞すみれ 14日 フラワーアレンジメント 27日 書道教室 28日 ひとみ会	新聞すみれ(大正琴) ひとみ会 個人ボランティア（4人）
12月	10日 西部民謡の会 12日 フラワーアレンジメント 14日 書道教室 17日 翔舟会 23日 クリスマス会	西部民謡の会 翔舟会 個人ボランティア（4人）
1月	9日 フラワーアレンジメント 14日 シルバーロマン 16日 ハーモニー 18日 書道教室 28日 新聞すみれ 30日 ひとみ会 31日 やまぼうし	シルバーロマン ハーモニー 新聞すみれ 個人ボランティア（3人）
2月	13日 フラワーアレンジメント 15日 書道教室 25日 やまぼうし 26日 西部民謡の会 28日 ハーモニー	やまぼうし 西部民謡の会 個人ボランティア（3人）
3月	5日 中山さんと歌う会 13日 フラワーアレンジメント 15日 書道教室 18日 新聞すみれ 26日 シルバーロマン 27日 ひとみ会	新聞すみれ シルバーロマン ひとみ会 個人ボランティア（4人）

月例	内 容	実施日	月	内 容	実施日
余暇	踊り鑑賞と歌う会	随 時	看 護	総回診	月4～5回
	書道教室	月1回		皮膚科回診	月1回
	フラワーアレンジメント	月1回		血圧測定	週2回+随時
	外 出	随 時		検 尿	随 時
	レクリエーション	随 時		健康診断	年1回
	リハビリ体操(フロア-毎)	毎 日		インフルエンザ予防接種	年1回
介護	入 浴	月8～9回	栄 養	特別メニュー	月1回
	シーツ交換	月4～5回		嗜好調査	年1～2回
	ケアカンファレンス	月10回程度		体重測定	月1回
	理 髪	月3回	防 災	防災訓練（月1回）	総合防災訓練 年1回
	美 容	-			

## 2. デイサービスセンター新緑の郷

### 運営概要

今年度は、他事業所が敬遠する重度な認知症の方の受入れを積極的に行いました。この結果、繋がりができた居宅介護支援事業所もあり、コンスタントに新規利用者を紹介していただきました。

また、10月に名称の変更を行ったと同時に個別機能訓練加算Ⅱを算定しました。作業療法士が担当者会議にも参加し、機能訓練の内容をわかりやすく家族や他事業所の職員に伝えることを心がけ、アピールの機会としました。

しかし、12月に週5～6回利用していた利用者の方々の入所が相次ぎ、その後の感染症の時期に繋がり、著しく稼働率が低下してしまいました。最終的には累計で、目標を0.03%下回り-4人となりました。

JA研究発表会において「送迎サービスの質を向上させるための取り組み」の発表を行いました。

住みやすいこの地域で、在宅生活が継続できるためのADLの維持を支援する機能訓練の提供してまいります。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等	
4月	お花見	カラオケひまわり会、	毎日のレク
5月	運動レク	JAひまわりの会、ひとみ会	ちぎり絵
6月	運動会	中山さんと歌う会、翔舟会	クラフト
7月	七夕飾り、祭準備	若松町ナツメロ同好会、	書道クラブ
8月	夏祭り	ウクレレ『トロピカルズ』	頭脳レクリエーション
9月	敬老会	シルバーロマン、書道教室、	運動レクリエーション
10月	運動レク	新聞すみれ、富士の会	カラオケ
11月	貼り絵	西部民踊の会、フルト&歌、	塗り絵
12月	ゲーム	うさぎ、やまぼうし太極拳	
1月	新年会	ペーパーミント、	
2月	節分祭		
3月	ひな祭り	毎月：カレンダー作り・体重測定・防災訓練	

## 3. 各種委員会・会議活動

### ア. 生活向上委員会

#### ①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

身体拘束廃止委員会では、毎月、身体拘束に該当する利用者の確認を行っています。不適切ケアについては、意見交換、情報を共有化し各職員に伝達することができました。グレーゾーンの明確化と身近な例から対応を検討しました。職場の環境作りも大切との共通認識を持ち、職員間のコミュニケーションを図るように努めました。

## ②安全管理・感染症対策委員会

事故対策・安全管理委員会では、ヒヤリハットを活用し、事故に繋がらない対応方法を検討しました。そして、同じ事故を繰り返さないためフロア会議で検討を行い、事故予防への意識強化を図りました。また、それぞれの時期に起こる感染症の対策について、話し合いを行いました。

全体会議では、「緊急事態発生時対応」と「感染症対策」について研修会を行いました。

## ③口腔ケア・排泄委員会

協力歯科医から利用者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れれました。また、排泄の記録の表記を見直しし、統一しました。また、排便を促すために「お腹の体操」を取り入れました。

## ④褥瘡予防対策委員会

「体交枕の入れ方」を学び、職員に周知していくことを目標とした結果、委員会メンバーに体交枕の使い方等を質問されることが増えました。入所時に褥瘡のある利用者が、看護・介護職員との協力し適切なケアを提供することで完治できました。

## ⑤広報・アクティビティ委員会

季節行事においては、デイサービスと連携し対応できました。各フロアの掲示板を活用した利用者の作品作りや写真の掲載については、ご家族からも好評だったため次年度も継続していきます。また、広報を法人のホームページに掲載し、施設内の生活を外部にアピールすることができました。

## ⑥食事委員会

栄養士が中心となり、委託先の事業所と話し合いながら利用者が食べやすい食事を提供することができました。食事形態については摂取状況をモニタリングし、形態の変更や見直しを行いました。

## イ.会議活動

### ①基幹会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

### ②施設運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・職種長・フロアリーダー・生活相談員等による会議を開催、事業計画の作成と実施状況の報告、法人動向の報告、厚生苑 新緑の郷運営に関する検討と決定、情報の共有化等に努めました。

### ③フロア会議

月1回開催、フロア毎、利用者のモニタリングを行い、状態の変化に応じた介護ができるよう検討、情報の共有化を図りました。また、運営会議、各委員会からの要請事項について検討し、

具体的な取組方法について確認をしました。

#### ④ケアカンファレンス（担当者会議）

利用者・家族・介護支援専門員・相談員が参加して、個別介護サービス計画について会議を開催しました。なお、内容によっては、施設長・各職種も同席しました。

#### ⑤施設全体会議

本年度は年6回開催し、職員のスキルアップのため、グループディスカッション形式の内部研修を開催しました。また、外部研修報告も併せて行いました。

#### ⑥通所介護サービス会議

月1回開催、行事、レクリエーションの企画・準備、内部研修、通所介護事業運営に関する検討し決定します。利用者のモニタリングと情報の共有化等に努めました。

#### ⑦防火・防災管理委員会

防災に関することにおいて会議を開催しました。夜間想定防災訓練時には、設備会社の方から機器の発信方法を学びました。

#### ⑧優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

厚生苑清流の郷と合同で開催しました。外部より第三者委員2人を含め入所申込者の中から優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。今年度はオブザーバーとして、法人内の居宅介護支援専門員も同席しました。

## 4. ボランティア活動

### ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均  (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	7	35	4	31	3	4	-	-	1.17
5	6	18	4	15	2	3	-	-	0.58
6	10	37	7	33	3	4	-	-	1.23
7	7	25	3	20	4	5	-	-	0.81
8	6	20	3	16	3	4	-	-	0.65
9	7	24	4	20	3	4	-	-	0.80
10	6	19	4	16	2	3	-	-	0.61
11	7	23	4	19	3	4	-	-	0.77
12	7	19	5	16	2	3	-	-	0.61
1	8	29	6	26	2	3	-	-	0.94

2	8	25	6	22	2	3	-	-	0.89
3	8	36	5	32	3	4	-	-	1.16
計	87	310	55	266	32	44	-	-	0.85

## イ. 活動団体

- ・ J A 静岡市助け合いグループ(ひまわりの会)・若松町ナツメロ同好会
- ・カラオケ歌うひまわり会・榎会・ウクレレ同好会トロピカルズ・西部民謡の会
- ・ふじの会・籠上中学校 P T A 成人教育ボランティア・中山さんと歌う会
- ・北番町町内会・北番町婦人会・若松町婦人会他